

地域住宅生産者グループ

近くの木と職人でつくる家づくり

地域型復興住宅の名称	対象となる地域
g bスタイル	宮城県仙塩地域、広域石巻圏、名取圏

グループの特徴とメッセージ

○地域循環型家づくり

「近くの木と職人でつくる家づくり」を実践。定例会議「近木職会議」を開催し、グループ内の意思疎通や協力体制の強化を図っています。

定期的な講習会や技術力向上のための勉強会を行っています。

○見学会を行っています

施主様のご厚意により、実際に住む等身大の家が体感できる見学会を開催しています。

○モデルハウスがあります

みやぎ材を100%利用したモデルハウスがあり、一般公開しています。家づくりのご相談も受けており、資金計画やローンアドバイスも行っています。

○情報発信しています

家づくりに関することや、見学会情報、補助金を最大限に活用する情報などをニュースレターにまとめ発信、ホームページでもお知らせしています。

グループの基本情報

グループ名称	近くの木と職人でつくる家づくり
所在地	宮城県宮城郡利府町加瀬字新町頭 96-2
結成年月	2004年8月
グループ形態	任意団体
主たる業態	工務店
グループ構成 ※各事業者名 は別紙	合計9社 原木供給 : 1社 製材 : 1社 建材流通 : 3社 プレカット : 1社 設計、施工 : 3社
代表者名	伊藤 博範（有限会社 伊藤工設計 代表取締役）
主な受賞歴・活動内容等	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年国交省地域材活用木造住宅振興事業採択 平成24・25・26年地域型住宅ブランド化事業採択 定例会議や勉強会の開催

地域型復興住宅の主な工法・価格帯

主な構造・工法	木造軸組ボード気密工法
価格帯	1,551万円～1,817万円（税別）
価格の基準面積	100㎡（30坪）～125㎡（38坪）
価格に含まない項目	屋外給排水工事、設計確認申請費、外構工事費、地盤改良工事費、カーテン等

*価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。詳しくはお問い合わせください。

グループ全体の施工実績（年間）

建設戸数*（木造戸建）	10戸
うち地域材活用の住宅	8戸
うち長期優良住宅	5戸
グループとしての施工実績	あり 4戸
グループとしての地域型住宅の受注可能戸数	12戸
自由記入欄（上記以外の実績等）	中規模、大規模リフォーム工事受注可

※参画する施工業者の建設戸数の合計

連絡窓口

担当者名	伊藤 美和子	メール	info@gikoban.co.jp
電話番号	022-356-9460	FAX	022-356-9463
ホームページ	http://www.gikoban.co.jp		

地域型復興住宅のイメージと特徴

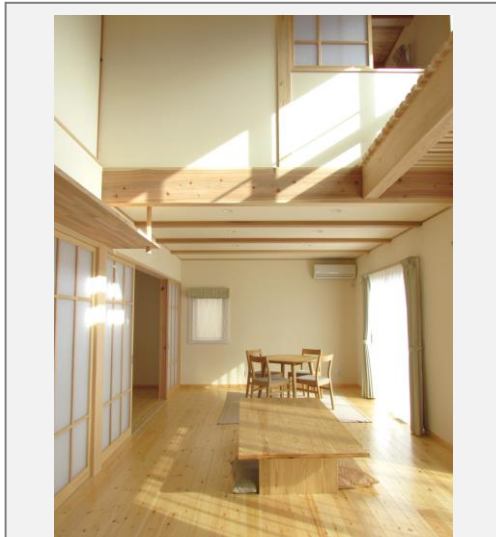
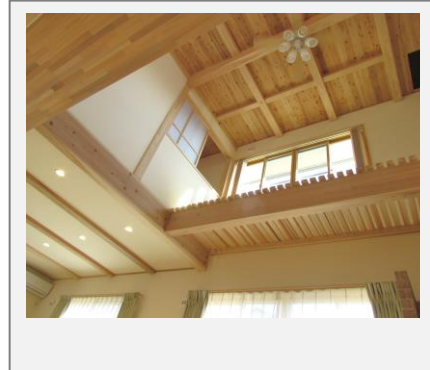
「g bスタイル」の特徴

■ 近くの木と職人で作る家づくり

- ・宮城県産材を積極的に利用。宮城県産材利用の補助制度や、地域型住宅ブランド化事業利用で、建て主に還元しています。
- ・なるべく既製品を使わず、職人の手づくりを大切にしています。シンプルだけれど、木のあたたかみを感じられる素朴な家。2階天井杉パネル・梁すべてあらわし。引き戸基準。

■ リンゴのような家

- ・断熱・気密性能は改正省エネ基準3地域（盛岡市）レベル、省エネルギーでの冷暖房が可能。Q値 1.9前後、C値 0.6前後。
- ・しっかりとした外皮で覆い、陽ざしや風は取り入れ、設備に頼らない省エネ化を実現。
- ・家族がひとつに集まる芯があり、将来までみずみずしく快適に暮らせる家を提案。



代表的事例の概要

構造	木造軸組ボード気密工法	床面積	1階：58.75㎡ 2階：45.50㎡
設計	有限会社 伊藤工設計	施工	有限会社 伊藤工設計

設計方法や地域材活用に関する特徴

■自由設計、優良品やぎ材の活用

- ・立地に合ったプランを考え、お客様と打ち合わせをしながら設計に反映させていきます。
- ・優良品やぎ材認証制度を利用し、第三者機関による検査を受けた木材を構造材に使用。また、宮城県産材利用の補助制度や、地域型住宅ブランド化事業利用で、建て主に還元しています。
- ・地域材供給の安定化・品質確保のために流通体制の強化を図っています。

主に活用している地域材について

地域材の名称	優良品やぎ材
樹種	杉、桧
産地	宮城県
認証制度等	優良品やぎ木材認証制度
主に取扱う材種	無垢材
主に取扱う部材	土台、大引、柱、梁、母屋、垂木

性能・仕様および施工方法等に関する特徴

■長期優良住宅・低価格な省エネルギー住宅仕様

- ・「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」により、劣化対策、耐震性、省エネ、維持管理、居住環境、住戸面積、維持保全など9つの基準を満たしています。住宅を長持ちさせることによって、次の世代への継承や、環境に対する負荷を軽減することを目指しています。
- ・改正省エネ基準3地域（盛岡）レベルの高気密高断熱仕様。Q値1.9前後、C値0.6前後。
- ・「木造在来軸組ボード気密工法」を採用しています。外周を外壁材の下地に透湿する耐力面材で塞ぎ、屋根下は桁・梁上に合板を張りフタをします。全体が『箱』になるイメージです。そうすることで気密を確保し、断熱材が有効に働きます。また、耐震性も増します。基礎断熱、桁上断熱：2階屋根下（桁上）にグラスウール断熱材210ミリを吹き込みます。壁断熱：壁は高性能グラスウール120ミリを壁に充填します。低価格で高性能な家を目指しています。



地域住宅生産者グループ

近くの木と職人でつくる家づくり

地域型復興住宅の生産供給や流通資材の調達に関する体制

■川上から川下まで

- ・グループ発足当時から山側との連携をとり、実績を積んでいます。産地の詳細も明確で、安定した供給がありますが、品質向上のために流通体制の強化に努めています。



2012年植林活動

「近くの木と職人でつくる家づくり」ネットワーク体制



定例会議

施主からの相談体制および維持管理（アフターサービス）の体制・取組み

■相談体制

- ・みやぎ材を利用したモデルハウスがあり、家づくりの相談を受けています。また、施主様の了解をもらい、完成した家を見学会として開催しています。資金計画や住宅ローンのアドバイスも行っております。

■定期点検、維持管理、情報発信

- ・施工後、1年・2年・5年・10年 長期優良住宅の定期点検を実施しています。書類・図面を保管し、維持管理をしています。
- ・オーナー様（OB 施主様）へ、ニュースレターを発行し、役立つ情報をお知らせ、近況報告もしています。また、イベントを企画し、引渡し後の交流も大切にしています。右下写真は、夏休み工作教室の様子と、ニュースレターの表紙です。

